

旭川市市民活動交流センター指定管理者選定に係るヒアリングの記録（要旨）

日時：令和元年12月26日（木）午後1時30分から午後2時10分まで

場所：旭川市市民活動交流センター（以下 CoCoDe と記載） 会議・研修室1, 2

応募団体：1者（特定非営利活動法人旭川 NPO サポートセンター）

傍聴者数：0人

発言者等	ヒアリングの記録（要旨）
委員	<p>利用者のニーズは現在多様化, 高度化していると感じている。過去に出されたニーズは相当数あるようだが, その中で対応できなかった懸案事項等あれば教えていただきたい。</p>
応募団体	<p>例えば, 駐車場がわかりづらいとか, 会議・研修室を2つに仕切ったときの音漏れ等の課題がある。</p>
委員	<p>① 申請書類に「センター内部で活動するだけではなく, 外部に出かけていき市内全域での市民活動及びまちづくりの推進に努める」とあるが, 具体的にどのようなことをするのか。</p> <p>② CoCoDe を運営するときにこういう事業をやっている, という全体像を見せるようなパンフレット等はあるのか。推進していることをもっとわかりやすく発信してもらえれば市民の活動も活性化するのではないかと思う。</p> <p>③ これから5年間運営するに当たっての新たな目標があれば教えてほしい。</p>
応募団体	<p>① 「出前出張講座」や旭川大学での講座を行うとともに, 「まちづくり探検隊」という市外に出て活動する事業を実施している。</p> <p>② 事業の全体像について記載されているようなパンフレット自体はあるが, 必要なときに都度印刷しているという状況である。見せ方についての指摘は参考になったので今後活かしていきたい。</p> <p>③ 直近では, 「休眠預金」「社会インパクト評価」といったところに力を入れていきたいと考えている。また, 災害が毎年続いているので, 防災についても, 全道の NPO とネットワークを構築しているところである。</p>
委員	<p>過去3年の収支では黒字だが, 今後5年間の予算書では指定管理業務委託料が年々増え, 利用料金収入は平成30年度と比べて少ない額のままである。</p> <p>委託料が固定で利用料金が増えるならば黒字が続いても問題ないと思うが, 利用料金の予算が少なく抑えられていて委託料を増やしているような予算書になっているのは問題があるのではないか。何か理由はあるのか。</p>
応募団体	<p>利用料金は, 今後ほぼ頭打ちになるのではないかと思う。来年4月からの利用料金改定により料金が上がるため, もう少し安いところに移るといった話も利用者から聞いている。</p>

委員	委託料上昇については、人件費の上昇を反映している。さらに、施設の維持管理でもかなりの金額がかかるようになることが大きな要因である。
応募団体	貯まっているお金はどのようなことに使うのか。
委員	地域・社会にもう一度還元するということで、例えば婚活事業等の収益にならない事業に充てたり、空き家対策等新たな課題に向けて剰余金を使っている。
委員	アンケート結果で全体的に「大いに満足」が30～40%、中でも「職員の対応」が69%というのはすばらしいが、「大いに満足」が少ない「予約システム」について、なぜ少ないのか教えてほしい。これが改善されれば稼働率にも多少影響があるのではないか。
応募団体	予約システムのほか、電話・FAX・Eメール等予約手段はいろいろあるが、年配の利用者も多く、電話が一番楽なようである。若い人は予約システムを利用しているので、徐々に変わっていくのではないかと考えている。
委員	稼働率が50%を超えているのはすばらしいが、稼働率が低い曜日・時間もあると思う。そういったところを使ってもらえるような取組等があれば聞かせてほしい。
応募団体	土曜日の稼働率は70%くらいだが、月曜日は40%を切っている。予約してキャンセルする人もいるし、皆さん使いたい時間は大体同じで、使いたくても予約を入れられないこともある。そのため稼働率も限界に差し掛かっているという印象。 ただ最近、突然1時間の予約を入れてくれる方が増えてきた。このような使い方が広まってくればまた変わってくるのかなと期待している。
委員	キャンセルについてはどのくらいあるのか。
応募団体	実際数は用意していないが、例えば7件書ける申請書を2枚にわたって書いても実際に使うのは2件くらい、という利用者もいる。また、キャンセルは前日の時間内なら無料でできるため、前日夜10時少し前にキャンセルとなることもある。
委員	去年の地域防災リーダー講座など、事業資金について、どのようなところから補助を得ているのか教えてほしい。
応募団体	防災の件については、北海道立市民活動促進センターからNPO関係の補助金を得て実施した。その他には年賀状の寄附金を利用したり、協働事業を開催して先方に支払をしてもらうものもある。